

# バンクーバー新報

Vancouver Shinpo Japanese Weekly Newspaper

購読料：1年(51部) / \$79.80 半年 / \$50.40 1部 / \$1.00  
(\$76.00+GST \$3.80) (\$48.00 + GST \$2.40) (GST 込み) GST NO. R105484992

January 21, 2016

Address: 3735 Renfrew Street, Vancouver, B.C., V5M 3L7  
Tel: 604-431-6848 Fax: 604-431-6892  
Web Site: http://www.v-shinpo.com  
E-mail: joho@vshinpo.com info@vshinpo.com  
Publisher: S. Tsuda  
Canadian Publications Mail Product Agreement #40009397

The Japanese Weekly Newspaper Published Every Thursday

無断転載を禁じます。

今週の紙面	
カナダ「保守党首選は来年5月」	2
日本「スキーバス転落15人死亡」	4
国際「中国成長率69%に減速 25年ぶりの低水準」	6
新報インタビュー「世界中で愛される曲を作曲家・シンガーソングライター『大橋トリオ』」	10
メープル「明日香村から世界へ打って出る和太鼓グループ、倭-YAMATO」	11
和太鼓グループ「ワールドツアー」	14
ワールドツアー	15

## 明日香村から世界へ打って出る 和太鼓グループ、倭-YAMATO ワールドツアー



和太鼓グループ、倭-YAMATO (Photo by Hiroshi Seo)

古代文化の香り豊かな郷、奈良県明日香村。「日本の心のふるさと」、「大和魂の発祥の地」とされる、この明日香村を拠点に、演奏活動を続けている和太鼓グループがある。迫力ある演奏で、世界的に高い評価を受けている、「倭-YAMATO」だ。その「倭」が、1月～3月にかけての全米&カナダツアーの一環として、初のバンクーバー公演を予定している。バンクーバー公演は2月6日(土)午後8時から、クイーンエリザベス劇場(Queen Elizabeth Theatre)にて。(文 西川 桂子)

詳細はパート2、V-14～15ページ

## 台湾総統に民進党・蔡氏

### 女性初、8年ぶり政権奪還 中国警戒

【台北共同】台湾 総統選は16日投票開票 党、民主進歩党(民進党)の 党候補に圧勝し、初当選し 国は独立志向の民進党を強く警戒しており、国民党政権下で急接近した中台の関係は緊張含みとなる。関係が不安定化すれば東アジア安全保障への影響は必至で日米政府は動向を注視する。

た。民進党は8年ぶりに政権奪還し、台湾史上初の女性総統が誕生する。台湾統一を目指す中台関係の民進党を強く警戒しており、国民党政権下で急接近した中台の関係は緊張含みとなる。関係が不安定化すれば東アジア安全保障への影響は必至で日米政府は動向を注視する。蔡氏は、経済低迷や対中融和策をめぐる国民党批判の受け皿となり、中国の強大化への不安を背景に若者らに広がる「台湾人意識」も追い風に支持を拡大した。民進党は、同時実施された立法院(国会)定数113選でも躍進し、初の過半数獲得を達成する勢いだ。蔡氏は16日夜、記者会見で「平和で安定した中台関係の現状維持」を目指すことを強調。対話の重要性を訴え、民進党との公式対話を拒む中国側に対応を求めた。国民党の馬英九総統に敗れた2012年の前回選挙の雪辱を果たした蔡氏は5月20日に総統に就任する。任期は4年。中央選挙委員会の午後9時すぎの中間集計によると、蔡氏の得票数は683万票と、国民党の朱立倫主席(54)の377万票、野党親民党の宋楚瑜主席(73)の156万票に大差をつけた。朱主席と毛治国行政院長(首相)は16日、敗北を受けて辞任すると表明した。08年の総統就任後、対中融和策を進めた馬氏が2期目に入った12年前後から国民党は支持率低下が続いた。中台は不可分の領土だとする二つの中国「原則」を掲げる国民党の立場を受け入れない有権者が増え、今回の惨敗で党が分裂する可能性も指摘されている。馬総統と中国の習近平国家主席は昨年11月に行った中台分断後初の歴史的首脳会谈で、「二つの中国」を認めた「92年合意」が中台の平和と発展の基礎だと確認した。しかし、蔡氏は92年合意を受け入れない形で対中交流を目指すとしている。副総統には、蔡氏とコンビで出馬した公衆衛生専門家の陳建仁氏(64)が当選した。

## 「二十歳、おめでとう!!」



成人式に出席した拓殖大生9人とランガラカレッジ・拓殖大学代表、来賓ら

1月11日午後、バンクーバー市内にあるランガラカレッジで、英語研修中の拓殖大学(本部、東京都)の学生9人が、両大学関係者や来賓、ホームステイ先の家族、友人らに見守られ、成人式に臨んだ。拓殖大学のランガラカレッジ英語研修プログラムは1978年から始まった。この成人式は、80年代に同プログラムのコーディネーターの一人が、二十歳を迎えるその年の研修生のために成人式を提案したことがきっかけとなり、日本での大切な節目の歳の式に参加できない留学生がカナダで経験できるようにと、毎年1月「拓大プログラム」の学生のために成人式が開かれている。(取材 高橋 百合) 詳細はパート1、9ページ

## 拓殖大学留学生ランガラカレッジで晴れやかに成人式



# 「二十歳、おめでとう！」 拓殖大学留学生 ランガラカレッジで晴れやかに成人式

1月11日午後、バンクーバー市内にあるランガラカレッジで、英語研修中の拓殖大学（本部、東京都）の学生9人が、両大学関係者や来賓、ホームステイ先の家族、友人らに見守られ、成人式に臨んだ。

## ■カナダで成人式

拓殖大学のランガラカレッジ英語研修プログラムは1978年から始まった。80年代、同プログラムのコーディネーターの一人が、二十歳を迎えるその年の研修生のために成人式をと提案。日本での大切な節目の歳の式に参加できない留学生が、カナダで経験できるようにということからだった。以来、毎年1月、「拓大プログラム」の学生のために成人式を開いている。

当初は、バンクーバー市庁舎で、市長らの列席で催されていた。現在はランガラカレッジのキャンパス内で、両校からの代表者、在バンクーバー日本国総領事館からの代表者、留学生のホームステイ先家族や友人らを招いて催している。

## ■特別な思い出となる式

「拓殖大学からの留学生は、プログラム開始以来800人以上。そのうち、ここで成人式に臨んだのは100人以上」と、国際教育学部のバレリー・ピーターズ部長は語る。「特別な式なので、当校にとってもうれしいこと」と言う。

拓殖大学の学生にとっても忘れがたい思い出となる。式で、一人ひとりがスピーチを行う。「日本での大規模な成人式では味わえない感動」という声が返ってくる。

以前、拓殖大生ではないが、この成人式に参加させてほしいと言ってきた日本人学生がいた。父親の仕事の関係で海外に住んでいて、日本での成人式に参加できなかったからだ。「その願いは実現し、学生はとても喜んだ」とピーターズ部長は振り返る。



バレリー・ピーターズ部長

## ■「お世話になった人々への感謝を忘れずに」

成人式は、まずピーターズ部長が開会の辞を述べた。次に、ランガラカレッジを代表してビジネス戦略・発展学部のイアン・ハンフレイズ副学部長が祝意を表した。

「当校が、成人となる留学生のために式を開くことができ光栄に思う。海外からの若い学生たちが、異文化の中で壁に突き当たっても、勇気を奮い起こして立ち上がる姿に感動してきた。回復力ある精神をもってこれからの人生を歩んでほしい」。



イアン・ハンフレイズ副学部長

在バンクーバー日本国総領事館からは内田晃首席領事がスピーチを行った。

「成人」の法的根拠、親・保護者などこれまで世話になり支援してもらった日本とカナダの人々への感謝の気持ち、日本の将来を牽引していくためにも英語能力の向上、異文化への理解、歴史は繰り返すともいわれるので、古今東西の古典についての学び、幅広い教養の習得などについて語った。

内田首席領事はさらに、「苦労や困難に直面し挫折することもあるかもしれない。しかし、そういう状況が起こりうることを予想しておくはダメージ・コントロールしやすい」と、人生の荒波を乗り越えるコツを伝授。「苦しくなってきたら、早めに信頼できる人に話し相談することもよい」と述べた。

拓殖大学を代表してランメル幸さんは、「精神面・知識



ランメル幸さんと、ランメル・チャールズさん

面で成長するには、まだ長い道のりがある。自分自身を大切に、よく学び、ランガラのコースを修了してほしい」と期待を込め祝った。また、ランメル・チャールズさんも、「これまでの『心地よい域』から出て、模索しながらも進んでいくように」と励ました。



内田晃首席領事

## ■二十歳、それぞれの思い

拓殖大学の今回の英語研修生14人の代表・正木みなみさんからのメッセージもあった。その後、新成人の9人の学生が、一人ひとり英語で短いスピーチを行った。成人としての責任や決意、親・保護者への感謝の気持ち、仕事への不安もあるが、これからの人生に期待し、楽しみたいという内容もあった。

ハンフレイズ副学部長からそれぞれに記念品贈呈があり、閉会の辞は、国際・外部発展学部のアジェイ・パテル副学部長が行った。

式終了後、この日のための特製ケーキと飲み物で式出席者らとくつろぐ新成人たち。スピーチの際の緊張感もほぐれ、英語研修を楽しむ学生の顔に戻ってはいしたが、特別な思い出を作った興奮に輝いていた。

(取材 高橋 百合)



成人式に出席した拓殖大生9人とランガラカレッジ・拓殖大学代表、来賓ら



堀樹人さん



前原亮太さん

## 9人の 拓殖大学 新成人



宮崎晶平さん



大澤研太さん



佐々木寿菜さん



佐藤剛志さん



田中万優さん



山下実穂さん



山本泰平さん